

『一生懸命』幻の新座市議会報告第149弾!



たかむらともや

2017年7月31日発行

③ それでいいのか!PTA

6月議会でもPTAの問題を取り上げました。3月議会の教育長答弁にあったように、実は県教委から各校長に通達が来ているのです。その内容は

1.「PTAの入会は任意であることを保護者に周知すること。PTAの入会は任意であり、義務ではありません。入会や退会は任意であり、本人の意思であり、強要するものではありません。」

2.「PTAの加入方法や会費の集金方法を保護者に事前に周知すること。入会方法が周知されていない場合は無効とみなされることもあります。」

3.「PTA会員でない保護者の児童・生徒に対しても教育的配慮をすること。」

そして、日本国憲法第21条まで引き合いに出してこう言っています。「国民は誰でも希望すれば、PTAを結成・解散及び参加・脱会することができる。」これが県教委の見解です。

問題は、市教委が『県からの文章を保護者に周知しているのか。』という僕の質問に対して、「市教委はPTAには干渉しない。」という答弁をしたことです。県の教育委員会から、23校の校長に全ての保護者に周知すること。という通達が来ているのに、周知させてない校長はそれを無視していることになります。PTAの役員決めで悩んでいる保護者の方が沢山います。仕事は勿論、育児や介護が優先されて当たり前なのに、PTAの為に無理をさせられる人達が数多く存在しています。これからもPTA弱者の為に独りでも戦っていきます。



来月8月6日(日)に恒例の「わいわい川遊び」を行う予定です。今年も、多くの方の参加をお待ちしています! 魚を捕って、名前を覚えよう!

たかやんのプロフィール



昭和29年2月11日、港区青山に生まれる。新宿区立西戸山中学校、都立石神井高校卒。

北海道大3年の時に、突然教師を目指しはじめ、新座五中の1期生、3年4組の担任になる。

担任として五中・六中・二中で燃え、その時書いた学級通信の名前が「一生懸命」。小学校時代のあだ名は「たか」超悪ガキで、成績も悪かったが、河合先生、友達、そしてテニスと出会い、中二から人生がよい方向に変わったテニスマン。

五中時代、教え子たちは日本一を目指すも準優勝で終わる。その後六中の後輩たちが全国優勝を2度、五中の先輩たちの夢を叶えてくれた。教え子達のようにテニスで日本一になることを夢見ているが、道のりは険しい。とほほほほ。

写真は親友の至。家庭訪問で初めて会った日に意気投合し、徹夜で将棋を指す。(そんなバカな...)好きな俳優は水谷豊。好きな女優はハン・ヒョジュ、新垣結衣。好きな政治家は田中角栄、ホセ・ムヒカ。大嫌いなのは人相の悪い政治家達。

たかやんの応援団 で 検索

たかやんの連絡先 自宅 042-456-8869 携帯 090-6497-5737
mail:takayanchan@jcom.home.ne.jp 〒352-0033 新座市石神3-19-32-106

③ 受動喫煙

今回の一般質問では「受動喫煙」のことも取り上げました。新庁舎の喫煙室も論外ですが、小中学校での子どもたちの「受動喫煙」が気になります。

タバコの煙には4000種以上の化学物質が含まれています。喫煙後、肺の中から煙が出なくなるまで3分。有害物質が完全に出なくなるまでは45分から最大8時間かかるといわれています。

先生たちが休み時間にタバコを吸えば、児童生徒は常に「受動喫煙」の危険に晒されることになるのです。

教育委員会からの指導で、学校の敷地内は勿論、校門付近では「禁煙」になっているのに、それが守られていないのが現状です。中には管理職が平気で喫煙している学校もあります。中学生達に意味のない厳しい「校則」を守れと言っている割には、自分たちには甘いのですから、生徒たちが納得できないのは当たり前です。

先生たちの健康を守る為にも、子どもたちの健康を守る為にも、学校にいったん登校したら、下校するまで教師は禁煙すべきだと思います。それこそが「背中で見せる」教育ではないでしょうか。

③ 昔々

ハイライトを1日に50本吸っていた時代がありました。「タバコはショートピースかショートホープ、そしてハイライトだ！」と中学生に言っていた馬鹿な時代が僕にもあったのです。五中4期生の修学旅行の帰りに「たかやん、お願いだからタバコやめて！」と、三年生の女の子に真剣な目で言われて、「やめるよ！」と約束しました。あれから35年。その一言で僕も、その後の教え子達も煙草の害から救われたのです。彼女には今でも感謝、感謝です。



③ This is an 敗因

都議選の惨敗を受けて、自民党内部からも不満の声が溢れだしたようです。「This is 敗因」と誰かが言ったようですが、This だけではなくanも入れなきゃ可哀そうです。This is an 敗因です。

Tは豊田の「ハゲ！死ね！」、Hは萩生田の「実は加計と大の仲良し」、Iは稲田の「防衛省、自衛隊として」、Sは下村の「200万の裏献金」、isのiは今村の「出ていきなさい！」、sは菅の「全く問題ない」、aは安倍の「こんな人たちに負けるわけにはいかない」そしてnは二階の「落とせるものなら落としてみろ」で出来上がりです。(敗因は母音じゃないけど)

国会議事堂前で「原発反対」「共謀罪反対」を叫び続けている人たちも、沖縄で「辺野古移設反対」を叫び続けている人たちも、普通の国民なんだという事に彼らはまったく気づけなかったのです。

多くの国民が安倍政権に嫌気がさしていたのだと思います。御用メディアがいくら「高い支持率」を書き立てても、実際の支持率は都議選の結果を見れば一目瞭然です。自民党への投票は僅か22%。投票率が51%ですから、実質的な安倍政権に対する支持率は11%でしかないのです。「安倍内閣の支持率がついに36%に急落」と騒いでいますが、本当は11%だったということです。僕はそれでも多いと感じています。あの前川喜平さんは品格のある人相をしています、安倍内閣には悪い人相をした人ばかり。一日もはやく、退陣して欲しいものです。



初めて埼玉県議会の傍聴に行きました。吉田よしのり県議は、迫力ある、なかなかいい質問をしていたのですが、This is an 敗因のお仲間達はやっぱりこんな感じでした。どこの議会も午後はこんな光景が見られるのですが・・・うーむ。残念です。③

読み終わりましたら、お知り合いの方にさしあげてください m(_ _)m